

議長宛

内閣顧問臨時設置制外三件審査報告

昭和十八年三月十三日

委員長 鈴木副議長 謹

委員 石井顧問官 謹

窪田顧問官

南(弘)顧問官

松井顧問官

松浦顧問官

林顧問官

二上顧問官

有馬顧問官

清水顧問官

奈良顧問官

菅原顧問官

湖顧問官

深井顧問官

具野顧問官



大島顧問官 玉

竹越顧問官

泉二顧問官

白

小幡顧問官 物

伊澤顧問官

物

秘

内閣顧問臨時設置制外三件審査報告

問一

今回御諮詢ノ内閣顧問臨時設置制金屬回收本部官制金屬回收本部回收官ノ特別任用ニ關スル件及大正二年勅令第百六十二號任用分限又ハ官等ノ初級陞叙ノ規定ヲ適用セサル文官ニ關スル件中改正ノ件ニ付本官等全員審査委員タルノ命ヲ承ケ本月十日委員會ヲ開キテ國務大臣及關係諸官ノ辯明ヲ聽キ以テ之ガ査覈ヲ遂ゲタリ

本案各件ノ要旨ヲ説明スレバ左ノ如シ

第一 内閣顧問臨時設置制

當局大臣ノ説明ニ依レバ戰時行政職權特例ハ曩ニ本院ノ御諮詢ヲ經又之ト關連アル戰時行政特例法及許可認可等臨時措置法モ既ニ帝國議會ノ協賛ヲ得孰レモ近ク其ノ公布ノ手續ヲ進ムル豫定ナルガ此等ノ法令ハ其ノ内容極クテ關要ニシテ從テ之ガ運用ニ付テハ周到ナル用意ト新規ナル工夫トヲ必要トシ殊ニ戰時行政職權特例ニ依リ内閣總理大臣ノ重要軍需物資ノ生産增強ニ關スル職責ハ頓ニ重

同ニ

大ト爲ルニ至リタルモ政府ニ於テハ之ガ爲ニ特ニ新ナル部局ヲ設置スルコトナク現行ノ各種機構ノ活用ニ依リ之ガ遂行ニ遺憾ナキヲ期セントス然レドモ其ノ事項ノ極メテ重要ナルト各種生産事業ノ實體ニ關連スルコト深キトニ鑑ミ民間權威者ノ有效適切ナル意見ヲ吸收攝取スルノ必要尠カラズ更ニ戰時行政特例法及許可認可等臨時措置法ノ實效的ナル施行ノ他廣ク戰時經濟運営ノ萬全ヲ期スルガ爲ニモ此ノ際民間權威者ノ

積極的協力ニ俟ツヲ要スルモノアリ仍テ此ノ際特ニ産業經濟界ノ重鎮トモ稱スベキ者ヲ簡拔シテ此ノ方面ニ於ケル内閣總理大臣ノ顧問的補助機關トシムル爲内閣顧問ノ制度ヲ特設シ以テ内閣總理大臣ノ政務施行ヲシテ克ク業界ノ實情ニ即スルモノトシムルト共ニ業界ノ眞摯積極的ナル協力ヲ期待スルコトトシ尚此ノ制度實施ノ機會ニ於テ既ニ事實上其ノ活用ヲ停止セル内閣參議ノ制度ハ此ノ際之ヲ廢止スルコトトシ之ガ爲

茲ニ本件勅令ノ制定ヲ奏請シタルモノナリ本件勅令ノ條規ハ(一)大東亞戰爭ニ際シ重要軍需物資ノ生産擴充其ノ他戰時經濟ノ運營ニ關スル内閣總理大臣ノ政務施行ノ樞機ニ參セシムル爲臨時ニ内閣ニ内閣顧問若干人ヲ置キ(第一條)(二)内閣顧問ハ練達堪能ナル者ノ中ヨリ之ヲ勅命シ(第二條)親任官ノ待遇トシ(第三條)(三)内閣部内職員又ハ戰時行政職權特例第四條ノ規定ニ依リ内閣部内ニ於テ執務スル職員ヲシテ内閣顧問ノ職務ヲ助ケシム

ルコトヲ得ルモノトシ(第三條)(四)臨時内閣參議
官制ハ之ヲ廢止スル(第二項)旨ヲ定ムルニ在
リ

第二 金屬回收本部官制

當局大臣ノ説明ニ依レバ鐵銅等ノ金屬ノ戰
争遂行上必要缺クベカラザルハ言フ俟タザ
ル所ナルガ支那事變當初ニ於テハ此等ノ物
資ノ補給ハ之ヲ海外ニ求メタルモ米國ノ經
濟斷交ヨリ大東亞戦争ノ勃發ニ至リ之が供
給ハ大東亞共榮圈内ニ限定セラルルコトト

爲レリ政府ニ於テハ此ノ事態ニ對處シ製鐵
上銑鋼一貫設備ノ擴張、屑鐵使用比率ノ改善
等各種ノ方途ヲ講ズルト共ニ一般家庭ニ於
ケル金屬類ヲ初メ工場事業場ニ於ケル未働
遊休設備及轉廢業者ノ企業設備中ニ存スル
金屬類ノ回收ヲ行ヒ來レルガ近時戦局ノ推
移ニ依リ我國ノ海上輸送力ハ益々緊迫シ爲
ニ今後製鐵製銅ノ原料ヲ大東亞諸地域ヨリ
入手スルノ困難増大シ他面各種資材ノ確保
ニ必要ナル船舶ノ建造ハ一層急ヲ告グルニ

至リタルヲ以テ金屬ノ回收ハ現下愈々喫緊ノ要務ト爲レリ然ルニ之ガ回收ニ關スル從來ノ機構ハ官廳民間共ニ複雑多岐ヲ極メ其ノ他回收事務ノ遂行ニ當リテモ改善ヲ要スル點尠カラズ仍テ政府ニ於テハ此等ノ事務ヲ強力且綜合的ニ實施スルト共ニ民間回收機關ノ一元的指導監督及有機的連絡ニ遺憾ナキヲ期スル爲茲ニ本件ノ勅令ヲ以テ商工省ニ金屬回收本部ナル臨時ノ外局ヲ新設セントス而シテ本案ノ内容ハ(一)金屬回收本部ハ商

工大臣ノ管理ニ屬シ金屬類ノ回收ニ關スル事務ヲ掌ルモノトシ(條一)(二)同本部ニ勅任ノ本部長奏任ノ回收官專任六人及判任ノ回收官補專任十九人ヲ置キ(條二)別ニ商工大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ回收官ヲ命ズルコトヲ得シメ(條三)此ノ外部務ニ參與セシムル爲參與ヲ置キ商工大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳勅任官又ハ學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ジ(條四)又回收物件ノ評價ニ關スル專門ノ事項ヲ調

査セシムル爲専門委員ヲ置キ商工大臣ノ奏
請ニ依リ學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於
テ之ヲ命ズルモノトシ専門委員ハ其ノ職務
ニ關シ知得シタル祕密ヲ漏洩スルコトヲ得
ザルモノトシ(第五條)三本部長回收官及回收官
補ノ職務ヲ定ムル(至第六條乃)ニ在リ

第三 金屬回收本部回收官ノ特別任用ニ關ス
ル件
前記ノ金屬回收本部回收官ハ其ノ職務ノ性
質ニ鑑ミ廣ク適材ヲ求ムルノ必要アリテ其

ノ任用ヲ普通任用ノ資格アル者ノミニ限定
スベカラザルガ故ニ本件ヲ以テ之ガ爲ニ特
別任用ノ規定ヲ設ケ該官ハ正規ノ資格ナキ
モ其ノ職務ニ必要ナル學識經驗ヲ有スル者
ノ中ヨリ高等試験委員ノ銓衡ヲ經テ特ニ之
ヲ任用スルコトヲ得ルモノト爲サントス

第四 大正二年勅令第二百六十二號任用分限
又ハ官等ノ初級陞級ノ規定ヲ適用セサ
ル文官ニ關スル件中改正ノ件

本勅令第二條ニ於テハ特別任用規定ノ適用

ヲ受クル若干ノ高等文官ヲ掲ゲ其ノ諸官ニ
付テハ實際上其ノ任用ニ支障ナカラシムル
爲高等官官等俸給令第四條所定ノ初級官等
ニ關スル制限ヲ受ケシメザル旨ヲ定メタリ
然ルニ前記ノ金屬回收本部回收官ニ付テモ
亦同一ノ事由アルニ由リ本件ヲ以テ本勅令
第二條列記ノ諸官中ニ右ノ官ヲ追加シ該官
モ亦高等官官等俸給令第四條所定ノ初級官
等ニ關スル制限ヲ受ケザルモノト爲サント
ス

按ズルニ本案ノ四件中第一ノ件ハ大東亞戰爭
ニ際シ戰時經濟ノ運営ニ關スル内閣總理大臣
ノ政務施行ニ資セシムル爲臨時ニ内閣ニ有力
ナル諮問機關ヲ特設スルト共ニ曩ニ支那事變
ニ關スル重要國務ノ籌畫ニ參セシムル爲設置
セシ内閣參議ノ制ヲ廢止セントスルモノ爾餘
ノ三件ハ鐵銅等ノ金屬回收ニ關スル事務ノ適
切迅速ナル處理ヲ圖ラニガ爲商工省ニ一外局
ヲ新設シ並ニ其ノ職員タル特殊ノ官ニ關シ實
際ノ必要ヲ慮リ任用及官等ノ特則ヲ設ケント

スルモノニシテ孰レモ現下ノ事態ニ鑑ミ已ム
ヲ得ザルモノト認ム仍テ審査委員會ニ於テハ
本案ノ四件ハ此ノ儘之ヲ可決セラレ然ルベキ
旨全會一致ヲ以テ議決シタリ
右審査ノ結果ヲ報告ス

昭和十八年三月十三日

審査委員長

樞密院副議長男爵鈴木貫太郎

審査委員

樞密顧問官子爵石井菊次郎

四八

樞密顧問官 有馬 良橘

樞密顧問官 窪田 静太郎

樞密顧問官 清水 澄

樞密顧問官 南 弘

樞密顧問官男爵奈良 武次

樞密顧問官男爵松井慶四郎

樞密顧問官 菅原 通敬

樞密顧問官 松浦 鎮次郎

樞密顧問官 潮 惠之輔

樞密顧問官 林 頼三郎

樞密顧問官	樞密顧問官	樞密顧問官	樞密顧問官	樞密顧問官	樞密顧問官	樞密顧問官	樞密顧問官	樞密顧問官	樞密顧問官
深井 英五	二上 兵治	真野 文二	大島 健一	小幡 酉吉	竹越與三郎	三土 忠造	伊澤多喜男	池田 成彬	南 次郎
						<small>(病氣開席ノ為 決議ニ與ラズ)</small>		<small>(病氣開席ノ為 決議ニ與ラズ)</small>	<small>(出張中ノ為 決議ニ與ラズ)</small>

樞密顧問官 泉二 新熊

樞密院議長 原 嘉道 殿



昭和十八年三月十九日

委員長 清水顧問官 五

委員 南(弘)顧問官 五

松浦顧問官 五
菅原顧問官 五

二上顧問官 六

樺太廳官制改正ノ件外四件審査報告

八